

# 【ねがいはしては】

平成15年1月29日

第152号

KYOWA SCHOOL

「家族の重み」

家族・・・社会を形成する最初の一つの和。最近強く私の心の中にふくらみをもってきたことばです。

ここを訪れる様々な子供たちの表情、行動などから「あたたかいな」「ひとりぼっちかな」などと、家庭の風景がうかがい知れます。かといって盗み見をしているのではありません。

昨年12月23日から始まり、今年1月6日まで行われた「くりたのランチ冬」。朝9時から夜8時までランチをはさんで約10時間の勉強。もちろんランチは私が作るわけなのですが、食後、中学生たちは湯沸し器のない教室の、氷のような冷水で食器洗いを始めます。私が洗い始めようなら、すかさず叱られます。大事なお子さんをお預かりしていながら、冷たい思いをさせてしまつて・・・。

彼女たちの表情からは「誇り」が感じられます。「これは私の仕事。」

ある子は、いつも家庭で洗い物のお手伝いをしているのだろうな・・・

ある子は、本当は家庭でもこうして温かい風景の中で洗い物をしたいのだろうな・・・

ここに溢れる温かい光景。くりたのランチ講習をするたびに、彼らの彼女らの温かいまなざしは、日を重ねるにつれて大きく大きくなってゆきます。そして講習が終わりに近づくにつれて、どこからともなく聞こえてくる声・・・「もう終わりだー、やだなー、学校が始まっても来たいよー。」

わたしは、この講習が始まったときの、あの割と静かな時間の流れが、日を重ねて終盤、えっ！えっ！という間に、質問地獄攻めの襲来。精神的にもぎりぎりのところまで追い詰められます。ほとんど10時間しゃべりっぱなしになります。

これこそ本物の「学ぶ」なのだ！

彼らは学びたがっている、学ぶことの楽しさを見つけている。テストもない、競争もない、宿題もない。

あつたとしてもゲームのような・・・小学校6年生から中学3年生までがそろって「中学入試計算問題」を「用意始め！」と、真剣に取り組む。私の心はワクワクしっぱなし・・・。英語の辞書をひいたことのなかった子が、傍らにしっかりと辞書を置いて向かいます。理科の問題を、ほとんど1分おきに質問質問の子。

夜7時半すぎになると、お昼に残ったお雑煮のスープにうどんを入れて「煮込みうどん」。彼らのすさまじい食欲があつという間にぺろっ！

けっしてけんかなど起こらない、先輩たちの温かい配慮に、私の心は食べなくてもあたたかいもので膨らみます。ある一つのにぎやかな家庭の風景のようです。

こんな環境で、きっと「勉強」したいのだろうな。温かい気持ちで「勉強」したいのだろうな。

こんなムードの家庭だったら、きっと自宅でも向かうだろうな。

先日、遊びに来てくれた高校生と中学生がうれしいことを言ってくれました。家族の話をしていて、つい私が「俺は今ひとりで暮らしていて、家族はいないし・・・」2人声をそろえて「えっ！ここにいてしょー！」・・・ありがとうございます。よいお嫁ちゃんになれますぞ！2003年、年の初め、幸せを願っています。

おめでとう！

飯田浩平くん この教室始まって以来の「中学受験」・・・何事も経験なので・・・と、受験してみた  
ら合格しました。 千葉大学附属中学校・・・本人はいたって「ぼーっ」としてます。  
勉強は楽しい物なのです。自分歩きの勉強って、いいものですね！

2月の予定

3日（月）検定試験合格発表

11日（祝）湯島天神・・・チビッコそろばん祭り KYOWA SCHOOL 代表  
佐藤滉輔君・吉武和哉君・矢口裕介君・田代佳奈子ちゃん